



紀 宝 町

議会だより

平成20年3月1日発行（第7号）



みさご岩からの展望

議 会 日 誌

平成19年10月～12月

- | | | | |
|--------|------------------------------------|--------|--|
| 10月 3日 | 国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会
総会（大阪市） | 12月 3日 | 議会運営委員会 |
| 18日 | 全員協議会
議会運営委員会 | 7日 | 教育民生常任委員会 |
| 19日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 11日 | 第4回定例会・第1日目 |
| 22日 | 自治体議員研修会（第2回）（津市） | 12日 | 第4回定例会・第2日目 |
| 11月 8日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 13日 | 第4回定例会・第3日目 |
| 12日 | 災害・環境保全対策特別委員会 | 21日 | 産業建設常任委員会
熊野川流域対策特別委員会 |
| 15日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（国土交
通省）〔16日まで〕 | 25日 | 東紀州農業共済事務組合議会全員協議会・定
例会（熊野市） |
| 22日 | 全員協議会 | 26日 | 紀南介護保険広域連合議会（熊野市） |
| 26日 | 紀宝町懸案事項要望活動（国土交通省）〔27日
まで〕 | 27日 | 紀南病院組合議会（御浜町）
紀南社会福祉施設組合議会（御浜町）
紀南特別養護老人ホーム組合議会（御浜町）
南牟婁清掃施設組合議会（御浜町） |
| 30日 | 第51回町村議会議長全国大会（東京都） | | |

12月定例会 一般質問

(要約)

平成十九年第四回紀宝町議会定例会は十二月十一日に開会しました。

第一日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長の閉会中の調査結果報告があり、続いて、町長から、第三回定例会以降の町行政各般の状況とその対応について報告がありました。その後、一般質問が行われ、第二日目の十二日及び第三日目の十三日にわたり、十三人の議員が質問に立ち、直面している諸課題について、当局の取り組みと考え方を質し、活発な議論が交わされました。引き続き、議案審議に入り、公平委員会委員の人事選任案件の他、条例の一部改正案件三件、平成十九年度一般会計補正予算案件並びに四つの特別会計補正予算案件をそれぞれ可決。続いて、人権擁護委員の推薦についての答申書を提出し、閉会しました。

議員

文部科学省は七十七億円もの巨費を投じて、教育施策の成果と課題の検証などを目的に、学年全員対象の調査として四十三年ぶりに昨年四月に実施をした全国学力学習状況調査結果を十月二十四日に公表した。大方は基礎問題は理解できるが、応用力には課題があるといっています。一九六〇年代に実施された全国学力テストでは、都道府県別の調査結果には大都市と僻地などの地域の学力格差も大きく開いたとあるが、今回は殆どの自治体

が特徴とありました。これは二〇〇一年度から始まった教育委員会と学校の協力。少人数指導の導入や、保守事業の実施、先生の研修など地道な学力向上策だとあります。

また他にもいろいろな話題も多くありますが、当町においてはどのような対応されるのですか。

教育長

この学力テストは単に子どもの能力をはかるためにテストするとか、あるいは個々の子どもの能力を単にテストするというのではなく、現在置かれている子ども

の力と学習状況は日本全体の中でどうなっているのだろうかということ、

あくまでも状況調査であるという認識にたつことが肝要かと思えます。紀宝町教育委員会は、今後改善していかなければならないこととして、次のようなことを考えています。結果を真摯に受け止めて、各校のそれぞれの特徴を尊重し連携を深め、時には指導をし、更なる授業の充実を図り、家庭学習の必要について保護者へ啓蒙、喚起させ、図書館とつなぎ、読書活動を更に活発にし、子どもに社会参加を促す方法を探っていく等を考えています。

議員

いろいろな表示があり現場

——子どもの携帯電話

議員

の教師も苦労もあるかと思うが、時代を担った青少年を教育なされるのですから、教員自身も自己研鑽され、授業の指導法を更に磨いていただき、後々に教え子に好意慕われる先生に。子どもは未来からの使者ともあります。一人ひとりの人間性を重視され立派な人材を社会に送り出して、いただきますようお願いします。

地案 光徳 議員



- ・全国学力テストの結果と今後の対応について
- ・子どもと携帯電話について
- ・支所廃止について

全国学力テストの

結果と今後の対応

ターネット上に垂れ流す悪徳業者の暗躍だと言っている。いずれにせよ実際に私立校の男子生徒が自殺、同級生が逮捕された事件では金の要求に携帯のメールが使われ、サイトに裸の画像や中傷の書き込みされたとある。このような実態の中で子どもへの携帯電話の使用は野放しでよいのか、当町の取り組みはいかがでしょうか。

学校教育の生徒指導上で一番困っているのは、携帯電話であります。掴みどころがないということ、広範囲なことでもあります。対応としては、原則には学校には持つてこない。中学校では特にサイトとくに結びに行かないように指導して、フィッシング機能を保護者にも連絡をしている。また、警察署の生活安全課の課長を招聘して、インターネット、出会い系サイトの危険性やブログの利用の注意や、フィッシングの必要性などを生徒の前で講演してい

この問題は学校側だけの責任ではなく、今後の問題として学校、保護者、産業界、そして行政が力を合わせて取り組まなければ解決できないのではない、が、まず当町において、携帯電話の子どもへの使用について、学校関係者と保護者との間で協議会等を持たれたのか。

議員
支所廃止は合併前より決まっていたが、合併後の今になって地域住民の方は、強く存続を求めるようになった。近くの支所で気軽に話して用事ができるのが一番嬉しい、住民への行政サービスの向上のためにも是非継続していただきたいのとです。

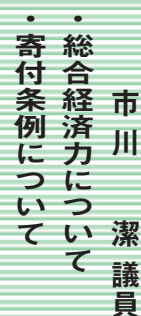
町長
合併協議会等においても、大変な中で議論して廃止という方向付けされましたの

した。近くの支所で気軽に話して用事ができるのが一番嬉しい、住民への行政サービスの向上のためにも是非継続していただきたいのとことです。

合併協議会等においても、大変な中で議論して廃止という方向付けされましたので、それらを真摯に受け止めて、と思っています。支所廃止になれば今までの行政サービスのようにいろいろな諸証明とかが取れなくなると不都合が生じてきますので、私どもとしては十分検討しながら、地域の皆様方にも理解していただけるよう考えていきたい。行政サービスのレベルを下げる一つの選択肢として、郵便局への委託も考えています。

議員
郵便局への委託も良いと思

うが、住民がこのサービスになれるまでは、懇切丁寧に説明をし納得させてください。



議員

東海四件の百七十六市町村の総合的な経済力を東海財務局が調べたところ、四県の中で紀宝町が下位と報道されていたが、町としてどのような受け止められているかお訊ねします。

町の総合計画におきまして、生活や産業活動を支える社会基盤整備の遅れや、後継者不足、雇用の場の創出など、経済活動の課題点を認識しており、これを踏まえた上

議員

もう少し公にインターネット等で把握している順位等を項目別に教えていただきたいのですが。

紀宝町の場合、人口増減率二十九市町中十七位、就業者比率は県下で二十五位、財政力指数は県下で二十二位、総生産額は二十六位、一人当たり所得水準は県下で二十七位となっております。有効求人倍率は、三重県内で職業安定所が九事業所あり、九事業所中最低でありました。完全失業率も県下で最低となっております。

議員

紀宝町は就業者率、完全失業率が悪いということなんです。そういう中で、地域産業興しが必要だと思いが、担当課長としての思いがありましたら、お答えをお願いします。

担当課長

地域の産業興しということで、井内工業団地への企業誘致等を積極的に行っていくたいと思っております。産業振興では、特産品等の開発、情報発信による流通の方向付けを考え、観光資源等の開発も行っていかなければと思っております。

議員

町長として、現状は現状として見、もっと明るい構想の思いを込めて、町長の意見をお願いいたします。

町長

これからの紀宝町のあり方として、やはり雇用の確保を図っていくということが一番大事ではないかとも思っております。全国的に見て産業活動や経済活動をする中では道路網の整備がされているところこそ、活発にされているという状況でございます。まして、高速道路の整備とい

うのは一番大事ではないかと思っております。これからの産業活動を興していく手立てにしていかなければならな

いだろうという思いを強く持っております。具体的には、市街地にぎわいゾーンでの地域振興、農住いきいきゾーンでの農業振興、里山ふれあいゾーンでは人とのふれあいの場として観光的資源の有効活用、森林やすらぎゾーンでは林業中心とした産業振興を図っていく必要があると思っております。私の政策的な課題としての若者定住化策につきましては、今後ともしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

寄付条例

議員

東紀州地域は経済力の低い地域だが、自然環境に恵まれている。森林保全や文化財保護、福祉向上など使途を明示した上で、全国から寄付を募って基金をつくる自治体が急増しているとのことだが、紀宝町でも今後、検討する必要があると思うが、当局はどの

ように考えられるかお訊ねいたします。

担当課長

寄付条例について、寄付を通じた住民参加型の地方自治の実現と、新たな財源確保の実現を目指し、個性的で活力あるまちづくりを目的に、使途を指定した寄付金を募り、原資の一部として基金化し、特定の事業に充てる制度と受け取っております。条例を制定している自治体については、自然の保護、景観保全事業、高齢者の福祉向上に対する事業やまちづくりやコミュニティの推進事業など多彩な事業に活用していると聞いております。寄付条例については、使途を指定することから、しっかりとした理念のもと有効で効果的な事業を行い、寄付をしていただける方に協賛していただける事業を行わないといけませんので、今後は内容、方法、条例を制定している自治体の取り組み事例などを研究して、条例制定できるかどうかを検討してまいりたいと思っております。

議員

自然保護の一つの例とし

て、この間、花の制定委員会の中で話題になっていた、紀宝町における絶滅危惧されている野生植物を、ボランティアの保護団体の方々がいろいろと調査されているというお話がございましたが、この辺りはどのように思われますか。

担当課長

ボランティアとしてお願いしてやっていただいておりますが、行政としても協力できる体制づくりをしてやっていかなければいけないと思っております。

議員

地域の良さをPRして、賛同していただく方に寄付をしてもらうことは、非常にプラス的な考え方だと思います。検討、研究するということからは、私は大切だと思えますが、町長の理解がないとできませんので、町長のお考えをお願いいたします。

町長

これからの紀宝町の基本理念でもあります、海・山・川の恵みに抱かれ、共に輝き創造する町とは、住民の皆様方と行政が協働体制を取り組めるような町になれば、本当に

素晴らしい町になるんじゃないかなと思っております。これからも町民の皆様方に啓蒙、啓発しながら町民の皆様方と一体になった取り組みに努めてまいりたいと思っております。



矢熊 敏男 議員

- ・紀宝町営浄化槽整備推進事業について
- ・教育に関する問題について
- ・災害に強い町づくりについて
- 他

紀宝町営浄化槽整備推進事業

議員

私は紀宝町営浄化槽整備推進事業、教育に関する問題、災害に強い町づくり、町の管理する道路や公園、限界集落の五項目について、多岐に渡り大変恐縮ですが質問をいた

します。

まず、町営浄化槽整備推進事業について、十三項目質問します。現在の町内の合併処理浄化槽、単独処理浄化槽、汲み取り便所の現状及び生活雑排水処理の現状はどうか。

担当課長

平成十八年度の町内の合併浄化槽は千六十基、単独処理浄化槽は約二千二百基、汲み取り式は約千四百基程度。生活雑排水は合併処理浄化槽と比較して、約八倍の汚れ（BOD）で放流されておりま

議員

県が平成十七年度からスタートさせた「生活排水処理アクションプログラム」では、現在、本町の整備率が二十四・一％、県平均が七十一・五％、熊野管内平均が三十一・四％。平成二十七年

町長

ご指摘のとおりでございます。実施方法については、PFI法に基づいて、進めてまいりたい。

議員

本年四月の、浄化槽法改定の内容をお願いします。

担当課長

法定検査、保守点検、清掃義務などが徹底され、悪質な場合には、罰則規定も設けられました。

議員

本事業の、町民アンケートの結果をお願いします。

担当課長

約七割の世帯が、合併処理浄化槽の必要性を認識していただいております。

議員

現在は個人設置型ですが、市町村設置型の利点は。

担当課長

保守点検、維持管理、清掃などが徹底され水環境が改善されると思います。

議員

なぜPFI方式（民間活用方式）を導入したのか。

町長

PFI方式により民間の力を借りて、行政の負担軽減を図って行きたい。

議員

PFI方式は経験も少なく問題点も多い。入札制だから特別目的会社が、町外業者になる可能性もある。その場合は、全ての関係町内業者が協力会社として、参入できるよう配慮すべきで、そうしないと町経済に与える影響が心配だ。

担当課長

本事業の特別目的会社や協力会社、工事会社に、地元

議員

年間百五十基の計画通りいかなかった場合。災害などにより合併処理浄化槽が破損し

た場合。それから、十年後この事業が終了した場合はどうなるのか。また新築は何基の見込みか。

担当課長

特別目的会社と協議し条項を設け、目標基数の達成を図り、リスク分担、保険など対策を講じていきます。新築は九十基前後を見込んでいます。

議員

本事業を推進する、国と県の交付金、下水道事業債、分担金などの具体的内容と金額をお願いします。

担当課長

総事業費は、約三十四億円となっております。財源別収入は、循環型社会形成推進交付金約四億四千万円。下水道事業債が約五億五千七百万円。地方交付税が三億七千万円。それに約二億二千六百万円が県から補助が下ります。そして、受益者の設置費の分担金や維持管理費です。

議員

本事業の町と特別目的会社とのリスク分担などは大丈夫か。

担当課長

適正にリスク分担をするこ

とにより、適正な運営に努めたいと考えています。

議員

特別目的会社が決定したら、選考過程や契約書を、町民に全て公開すべきだ。

町長

議会の皆様方に議決をしていただかなければならないし、町民の皆さまにも、しっかりと広報等をしてまいります。

議員

失敗は許されない事業です。町経済に与える影響も大きい。全ての面で慎重な配慮が必要です。

— 教育に関する問題 —

議員

小中学生の全国学力・学習状況調査結果について、教育長さんお願いします。

教育長

町の小中学校にとって、課題や改善点は何か、現在、分析や対策をしています。

— 災害に強い町づくり —

議員

「災害に強い町づくり」に



において、県の大規模災害ポータルサイトについて、理事さんお願いします。

担当理事

十月から運用が開始されています。広報紙等により、周知を図っていきます。

議員

災害時のための、要援護者リスト作成、自主防災組織の進捗状況はどうか。

担当理事

鋭意取り組んでいます。

町管理の道路や公園

議員

町の管理する、「フラワールード」「しょうぶ園」「自然公園」「町内各地区の公園」の維持管理についてお願いします。

担当課長

町民、職員、専門業者などで管理をしています。

「限界集落」

議員

心配される「限界集落」についてお願いします。

町長

大変な危惧をいたしておる

ところでございます。歴史、文化、そして命とお金というもの、を、相対的に見ながら、地域の活性化、あり方を、今後検討していく必要があると思います。

担当課長

集落別の六十五歳以上の高齢化率は、瀬原地区五十四%。浅里地区五十六%。大里地区小畑集落五十五%。北檜杖地区五十六%（実質四十一%）。只今、限界集落は三地区です。



尾畑 啓嗣 議員

- ・多重債務対策について
- ・鵜殿村財産貸付規則について
- ・RDF対策について
- ・後期高齢者医療について

多重債務対策

議員

今年一年間で町内で亡くな

った方、自殺者、交通事故死は何人か。

担当課長

死亡者は百二十二名、その内自殺者は三名、交通事故死は〇であります。

議員

全国信用情報センター連合会が二〇〇六年五月に実施した調査によると、サラ金利用者は千四百万人弱、その内約二百六十八万人が三ヶ月以上返済が滞っています。また、五社以上のサラ金から借りている人が二百三十万人、大部分の人が自転車操業状態にあると報告しています。この全国指数を紀宝町に置き換えますと、二百五十名くらい多重債務に苦しんでいることになります。政府は昨年の十二月、多重債務対策本部を立ち上げ、今年四月から多重債務問題改善プログラムを策定して、市町村にも対策の強化を求めています。どのような対策を取っていますか。

担当課長

「多重債務者への対応は自治体自らの責務」との意識を持って、主体的に相談窓口を設け、消費センターとも連携して対応したい。

議員

「多重債務になってもほとんどのケースは解決可能です」と広報で町民に知らせること、住民税や国保税、保育料等の滞納が現れたときは親身になって相談にのることが大切であります。紀宝町から一人の自殺者も出さないために、弁護士とも直ぐに相談できる体制作りをしてください。よく自殺する場所に「相談にのります」との立て看板を立てるだけで助かる命があります。是非予算化を要求します。

鵜殿村財産貸付規則

議員

鵜殿村財産の貸付に関する規則で、宅地、工場用地が坪二百五十円である。面積は六千坪あります。昭和五十六年から坪単価が改正されていない。今、鵜殿地区の固定資産税は、千四百円前後だと思ふ、二十二年間なぜ改正しなかったのか、適正な価格に見直すべきだ。矢渕中学校の雑種地は坪千七百六十二円である。名称も規則の中身も早く改めるべきです、町長。

町長

五十六年から変わっていません。五十年当時以降の分については、詳しくは把握しておりませんけれども、旧鵜殿村における工場用地の誘致とか、いろんな問題等を踏まえただ中で金額設定され、推移されてきたんではなからうかと思っています。

議員

逃げたらあかんで、あなたは、今の契約期間は、平成十七年四月一日から五年間の二十二年三月三十一日の使用期間で、この金額をはじいてるんですよ。平成十七年四月一日あなたの役職はなんでしたか。それは知らんでは通りませんよ。過ぎたことを言っても仕方ないので、二十二年の更改のときはせめて固定資産税並みの金額になるよう、話し合ってください。

町長

議員ご指摘のこともございますので、次回の契約時の更新につきましては検討してまいります。

RDF対策

議員

広域ゴミ処理施設は以前の焼却方式から固形燃料化方式に変わり、徹底したゴミ分別とゴミ資源化が行われるようになりました。管内より排出された可燃ゴミは固形化され、多度町のRDF発電施設へ燃料として搬送されています。発電施設での爆発事故により死傷者が出た直後から、一時的に搬入禁止、その後は処理料金、一トン三千七百九十円から五千五十八円と引き上げが行われ、二十一年から発電所の民営化を県が計画しています。民営化されると、処理料金が一万三千円から一万五千円が予想されます。県の計画の甘さや、収支見通しのずさんさ等が今日の結果を招いたのだから、町への押し付けには反対してください。RDFの耐用年数は平成二十八年です。今から管内処理を考えるべきです。紀州製紙の燃焼炉での燃焼の話し合いは進んでいますか。

担当課長

新年度より新たにリサイクルセンターを建設し稼働することに伴い、ゴミの分別化、資源化に努めてまいりたい。二点目の大幅料金アップと民

活の状況であります。当初は、売電収入等により無料でしてあげるであったのが、議員指摘の通りであります。運営協議会で、検討、鋭意折衝中であります。管内処理については、南牟婁清掃施設組合の構成市町と共に、どのような手法が考えられるか検討を進めております。紀州製紙さんとは、可能かどうか協議をしていきたい。

後期高齢者医療

議員

来年四月から七十五歳以上の人は国保制度から脱退させられ、保険料を政府の試算では、年八万五千円、月六千七百五十円の負担を強いられ、扶養家族から切り離され、年金から天引きされます。保険料を払えない人は、保険証の代わりに資格証明書が発行され、医者にかかるときは、全額を窓口で支払わなければなりません。一昔前は、地域によっては、六十五歳、七十歳以上の老人は無料であった。こんなお年寄りに冷たい政府案の撤回を国へ申し入れる考えはありませんか、町

長。

町長

平成二十年四月から国民健康保険から独立した新たな制度である「後期高齢者医療」が創設され、運営は全市町村が加入する後期高齢者医療広域連合が担うことになりました。十一月二十六日に「三重県後期高齢者医療広域連合、後期高齢者医療に関する条例」等が可決されましたので、それに伴い紀宝町が行う後期高齢者医療事務についても、町条例で定める必要があります。次回三月定例会で上程の準備を進めています。

相野谷診療所

議員

四月一日より医師確保ができましたので、大変喜んでおりますが、どのような医師ですか。

担当理事

現在、生協尾鷲診療所に勤務しております。松林研二氏（五十四歳）内科医、消化器科が専門分野。子どもは二人。妻と二人で町内に在住する。給与は紀南病院と同額。

議員

二人の医師の仕事の分担は。

担当理事

松林医師には月曜日から金曜日まで診療に当たってもらうと同時に往診もお願いしたい。

町長

二村理事については引き続き特別参与として残っていた、健康づくりに努めていただきたい。

※この他に、PFIの件について質問がありました。



西村 喜久男 議員

・支所の廃止について
・行財政改革における補助体制について

支所の廃止

議員

先ほどの同僚議員からの質問で答弁されておられ、くいようですが支所廃止を取りやめる、または延長するお考えはどうですか。

町長

合併協議会の中で委員の皆様方にも議論いただき、二十一年度をもって廃止していくと決定されました。現在、分庁舎、それから井田支所、相野谷支所に要する経費は年間四千五百万円ほどとなっていることで、効率化を図っていくことも重要課題と思っています。住民皆様方のサービス低下にならないよう、支所に代わるべき機能を果たしていただける体制づくりをしていかなければならないと思っています。

議員

役場の近くで便利なところに住んでおられる方には、辺地の住民の方、特に高齢者や体の不自由な方の不便さが分りにくいのではないのでしょうか。これ以上格差が広がらないように考えていただきたいと思います。他の市町村で同様な支所廃止や出張所の廃止という状況もあったと思います。その住民サービスを

低下させないための実施された施策があれば教えてください。

担当理事

県内では名張市が支所を廃止して郵便局に事務の委託を行って住民サービスをしています。他に旧の大宮町と紀勢町と大内山村とが合併した大紀町では、窓口事務の一部を郵便局でやっています。

議員

支所廃止については、住民の方にご理解いただくことが一番大切ではないでしょうか。ご理解いただくための説明会をどのように予定されていますか。

担当理事

住民の皆様方への説明につきましては、郵便局との協議が具体化しまして、それで議会への報告を行った後に対象地域で懇談会を行いたいと考えております。

行財政改革に おける補助体制

議員

昨年三月定例会で質問させていただいた中で、各地区や各種団体に対して助成する基

準をはっきりさせ不満が出ないよう検討していただきたいとお願いして、町長も補助体制を整理して行財政改革推進委員会等を踏まえて考えていくと回答があったと思います。現在の補助体制はどのようになっていますか。

担当理事

紀宝町の補助金交付規則というのがあり、それに基づき補助金の交付を行っており、各種団体運営補助や事業費補助は従来の実績を尊重し、新町全域の均衡を考慮しながら整備を行っています。

議員

各種団体の補助体制について、旧鶴殿のときからの関連で出されている助成金について、町民からいろいろ不満の声が聞こえてきます。その中で太鼓グループの旧紀宝のグループには助成金出ている。それから踊りのグループについて金額の違いがあると思いますか。

担当課長

旧鶴殿の太鼓グループの練習場は一般の方のところなので使用料を払ってお借りしておりますが、旧紀宝の太鼓グループは旧代体育館後の町の

施設を使用させてもらっていることから、太鼓グループの方からは補助金は遠慮するとの回答をいただいております。鶴殿はやしと紀宝ふるさと保存会の踊りグループの助成については、今後、均等割と一団体平均的な金額、あと人数割の金額とそういう体制にしたいのですが、今のところまだ調整できていません。

議員

財政が厳しいと今後、助成金を減らしていかなければならない状況も出てくると思いますが、井田地区の婦人団体の方で旧紀宝のときに助成していたいただいた金額が、いっぺんにゼロになったと不満の声をお聞きました。助成金の大きな変更のとき、その団体の方になぜこうなったのか、説明されましたか。

担当課長

代表者の方には連絡させてもらっております。

議員

紀宝港フェスティバルは今回七百万円の予算で実施されています。イベントの内容も検討していただき、例えば毎年でなく一年おきに実施するとか、有名芸能人を呼ばず住

民主体で手づくりでというやり方があると思いますが、検討するお考えはありますか。

担当課長

おっしゃられたように毎年でなく一年おきとか町民等の融和を図っていくため実施していくことも大事だと思いますし、そういうかたちでメイキングストに芸能人等を呼ばせていただいております。またいろいろと実行委員会でも検討し考えたいと思います。

議員

各地区の区から出た要望に対してやれるか検討する体制は、どうなってるのでしょうか。

担当理事

担当課と要望された地区の方、それと町長も交えて話し合っていたいただき、予算ということも絡んできますので、十分検討しながら進めております。

議員

出された要望を全部できないと思いますので、優先順位を決め進められると思います。決定する方向をどのように考えておられますか。

町長

現地の調査等をする中で緊

急度を要するものから順次実施していく必要があると思っておりますが、財政厳しい中取捨選択しながら事業の選択をしてまいりたいと思っています。

議員

住民の皆様の声を吸い上げる体制を今後各地区に広げていただきたいと思います。



平野 美津子 議員
・町長の政治姿勢について
・合併浄化槽事業について

町長の政治姿勢

議員

町長は常に、「住民本位の政治」「住民との協働の政治」と表現されていますが、どの

ようなところに基本を置いて「住民本位の行政」をされているのですか。

町長

「まちづくり」を進めるうえで大事なことは、町民の皆様が行政に何を求めているのかを把握、認識することが必要不可欠だと考えています。これからの「まちづくり」は、住民と行政が協働して取り組むべきだと認識しております。町民の方々の話し合いを通じ、情報交換や情報の共有化を図りながら、行政と町民が協力し合って、まちづくりを進めていくことが「住民

本位の自治」であると受け止めています。

議員

「紀州製紙の導水管」についてですが、九月議会でお答えいただいた、「一企業なので行政としては関与されない」というお答えでは、住民の生活は守っていけないのではないかと思います。住民の側から見た安全性について、専門家に依頼して調査する姿勢は、ございませんか。また九月議会で質問させていただいてから、町長は、地域に入られて、住民のお話を聞かれましたか。

町長

前回もお答えさせていただきましたように、それぞれの地域の事情等も十分、議員さんを通じて、いただいているところでございます。企業にも聞き取り調査をさせていただきまして、申し入れをして、企業もその管理につきましては、万全を期して行っていきたいということでございます。企業とも連携を図りながら、しっかりとした形でと思っています。

議員

私も紀州製紙さんは就業の

場として紀宝町で一番大きな企業として、継続して操業していただかなければならないので、そういった意味での援助と、住民の安全性を確保することが、私たち議員や町当局の仕事であると思っております。その地域の方々の状況把握を十分にさせていただきま

——合併浄化槽事業

議員

昨日の同僚議員の質問に、合併浄化槽のPFI方式の事業については、合併前からそういうお話は出ていたということでしたが、それだったらなぜ「法定協議会」で住民に明らかにして進めなかったのか。

担当課長

合併前の状況では、PFIというところまでは計画はいつてなかったわけです。「市町村設置型」で進めていくということ、旧紀宝町、旧鶴殿村の方でもおりました。合併してから計画書をあげる段階で、PFIということがあ

議員

PFIに異議をとなえている議員でも、公設公営方式については、賛成されていると思います。住民の意見を十分に取り入れた行政をやっていると、先ほどお答えいただきましたけれども、「水をきれいにしたいけれども、「水をきれいにする」というテーマで、住民に語りかけ、呼びかけ、住民の多くの意見を集めて、地域の水をきれいにする方法を模索する。それが本来の意味での住民の、住民主体の「まちづくり」だと思います。九月議会ですり上げましたが、イギリスのPFIと日本のPFIの法律の基本的な違うところは、「リスク」がイギリスは全部業者が責任を持つという法律ですが、日本で作られたPFIの法律は、そこが抜けていまして、「リスク」を分担するという法律となっています。私もこの手法にすること事態を反対しているのではなく、住民の皆様が理解できていない中で、どんどん進んでいっていることに疑問を持っています。

町長

「市町村設置型」の手法を取り入れましたが、公共下水

道とか、特定環境下水道などいろんな手法があります。一長一短に理解していただくところのも非常に難しいところもございます。紀宝町に適した手法ということで取り入れたということでございます。行政としては、しっかりと説明をしていくことが大事だと思っております。区長会とか、町民説明会とか、いろいろな形の中で取り組んでおります。しかしまだまだ十分理解されたというふうには、私どもも思っております。しっかりと説明をしながら、町民皆様方、一人ひとりの方に、ご理解をいただければと思っております。この「市町村設置型」につきましては、ご理解を賜りますようお願いいたします。

議員

熊野市では、家庭の廃油を回収して自動車燃料へのリサイクル運動が進められていいます。またフライパンの油を新聞紙で拭き取ると油がいつぱいついたりします。そういう細かいことが「水をきれいにする」という子どもたちの教育にもつながってくると思い



災害・環境保全対策特別委員会



産業建設常任委員会

ます。合併浄化槽の設置基数のみが「水をきれいにする」につながると思います。日常生活上、の啓蒙、啓発が大切だと思います。

担当課長

浄化槽の設置基数は、必ずしも数字に反映されないことも、そのとおりです。適正な維持管理がされないということになりますと、水質の向上につながらない。私どもが「市町村設置型」を導入しようと考えた、最大の理由です。公共が責任をもって維持管理をさせていただく、これが施策の一番の柱であります。

す。もっと効率的な手法がこのPFI方式ということであります。啓蒙、啓発活動につきましても、行政も協働できる体制作りに努力したいと考えています。

※この他に、男女参画基本計画の件、議会の公開の件について質問がありました。



北山 千恵 議員

- ・ゴミ収集の一元化について
- ・地球温暖化防止について
- ・行財政について

——ゴミ収集の一元化

議員

四月より週四回のゴミ回収を実施することで、人件費も含め諸経費がいくら嵩むのか。

担当課長

車の購入代金も含め、約千三百万円かかります。

議員

週四回の収集に慣れてしまうと、ガソリンも高騰している今日、経済的に立ち行かなくなつた場合、週二回に戻すのは大変です。いかにゴミを減らすかが問題になっている。昨今、週二回の回収で充分だと言う声もあり、ゴミ減量や収集回数等も住民に聞いて欲しかったと言う声もあるが。

担当課長

ゴミ減量化、資源化に取り組んでいかなければと考えています。住民を交えての委員会的なものも必要があり、検討していきたい。合併後の収集の違いを先ずは一元化し、その後、今後のゴミ行政をどうしていくのかということに取り組む必要があると考えています。

議員

ゴミの収集回数が増えればそれだけゴミが増えると言われていています。二回の収集で間に合わない人は、町内の他のゴミステーションへ持つていく等し、今の週二回体制を維持していくのが最良だと思います。

す。それに四回にすることで、ゴミの有料化が早まるのではと危惧する声もあります。

担当課長

ゴミの有料化は近隣市町の状況を見ながら検討する必要がありますが、現段階では検討しておりません。

——地球温暖化防止

議員

地球温暖化防止に向け、個人でできることと行政としてやることがあると思う。行政として何をするのが最も効果的と考えているか。また、ISO14001を取得して学んだこととその効果は。

町長

一四〇〇一を取得し、これに基づきゴミの分別や再利用、電気使用の問題など取り組んでいるし、職員の意識改革もできたのではと思っています。

議員

今、町長が言ったゴミを少なくしたいと言うことと週四回のゴミ収集にすることは言っていることとしていることが違います。ゴミを減量する

ことが二酸化炭素の削減になり、地球温暖化防止に繋がっていくと思うが、ゴミ行政に對する考え方は。

町長

環境問題はこれから重要なことです。まず、ゴミ収集を一元化し、その後、ゴミの資源循環を目差して分別にも住民の協力を得ながら展開していく必要があります。

議員

ゴミを減量することが二酸化炭素の削減に直結することだし、生ゴミを堆肥化することとで品質の良いRDFをつくり、それを紀州製紙のバイオマスボイラーで発電の原料となるよう行政として努力していただきたい。

——行 財 政

議員

新聞で紀宝町は、経常収支比率が三重県下で最下位であり、総合経済力が東海地方でワースト三だという報道もありますが、財政力指数はどうなっていますか、税収の徴収率は上がっていますか。

担当理事

財政力指数は〇・三八三で

十八年度の税の徴収率は九十三・〇二％で前年度と比べて約四百五十万円の増となっています。

議員

徴収できなかった六・九八％は金額でどのくらいか、また回収するためにどのような方法を講じられたのか。

担当理事

約六千七百八十万円の欠損です。滞納分は回収機構に回したり、各戸へお願いして分納誓約書を交したりしています。

議員

約六千七百八十万円の滞納金は何件分に当たり、何人の職員で回収されるのですか。

担当理事

未納者は千五百四十五人、件数は千二件で、二名ずつ三班に分かれて徴収に行きます。

議員

財政力指数は類似団体と比較するとかかなり低いです。税の徴収率を上げ、無駄な歳出を抑える努力をしていただきたい。財政構造の弾力性を表す経常収支比率ですが、十七年では扶助費や広域への分担金が増えているため、人件費

の削減や義務的経費を削減する必要がありますと分析されていますが、義務的経費とは。

担当理事

人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費、公債費の六項目を言います。物件費、維持補修費は努力で押さえることができますが、扶助費、補助費、公債費などは長期的な計画で削減というようになります。

町長

経常収支比率を九十四％位に持っていきたいのですが、指摘があつたことを充分に踏まえて十八年度は九十六・四と三ポイント減になったと、これからの経常経費の節減に努めたい。

議員

以前、同僚議員からも提案があつた慶弔費、町長が出席している時は弔電等もひかえ、経費削減に努めてもらいたい。公債費負担の健全度を図る実質公債比率ですが、分析では近年増加の兆しがあり、事業の緊急性・必要性を充分検討し、きびしい取捨選択を行ない健全な財政運営に努めることとあります。十八年・十九年度は事業の緊急

性・必要性を充分検討し、きびしい取捨選択を行なったのですか。

担当理事

継続・補助事業等もあり、早急にきびしい取捨選択とはいかないものもあります。が、実質公債比率としては、十四・八％で〇・九％上昇しています。

議員

将来負担の健全度を見る人口一人当たりの地方債現在高はどうなっていますか。

担当理事

十七年度に比べ、一人当たり四十九万五千七百十三円と二万七千八百六円増えています。庁舎増築や防災の関係で新規の地方債が増えていることと、人口が減少していることもあり、一人当たりの地方債残高は増えています。

議員

定員管理の適正度を見る人口千人当たりの職員数は全国市町村平均は八人ですが、本町はどうですか。

担当理事

十七年度一〇・二九人から十八年度は九・三四人に減っています。

議員

財政分析の結果を踏まえて十八年度・十九年度の事業計画を組んだのか少々疑問に感じます。思いつくままに申しますと、子どもが殆ど遊ばないような井田公民館前広場、すでに可決したことですが、鶴殿駅前の駐輪場の建設、とても緊急性を要する事業とは思えません。それに合併浄化槽のPFI導入事業、本町を流れるどの川をみても基準値は軽くクリアしているし、緊急性を要する事業とは言い

難い。議員の我々は本町の財政事情を良く勉強し、限られた予算内でどの事業が緊急性を要する事業なのか、また、事業の必要性を見極めることがとても重要なことだと感じています。民間なら、健全財政というよりは、倒産を避けるため、余剰人員は直ちにリストラし、無駄な経費はないか、赤字の部分をどう解決するのか、事業の生き残りをかけて必至の思いで戦っているのが実情です。二つ以上から見積もりをとることもせず、五百六十二万二千円もの庁舎増築設計を慣例で随意契約した点等を考えると、血税を扱う公務員の皆さんは民間のき

びしさをもう少し理解されたいという思いがあります。十八年度の財政分析の結果を踏まえての御所見を。

町長

財政的には前年に比べ、少しずつ改善されていますが、経常収支比率などなお高い数値を示すところもあり、今後の財政運営は経費の節減に努め、慎重かつ、十分な計画性のもとに進めていきたい。



阪本 守央 議員
・町長の1年間の陳情結果について

――1年間の陳情結果

議員

この一年間の陳情についての感触とか、実現可能性につ



産業建設常任委員会 現地視察

国の直轄事業化は期待できませんか。

町長

一市二町による七里御浜海岸浸食対策連絡協議会が年二回国交省に要望活動をしており、町単独でも大臣に直接七里御浜海岸、紀宝バイパス、河口大橋、桐原地区の相野谷トンネル等の諸問題を要望しました。先日、中部地方整備局の河川部長が熊野川と現地視察に来てくれました。その際、熊野川流域や七里御浜海岸の自然形態をトータル的に見直してもらうよう要望しました。特にこれからの七里御浜海岸については、国による整備手法をお願いしました。部長のお話によれば、国直轄事業は予算の関係上、全体のパイが限られていて、一つの区域が終わればまた新たなところを取り組むという手法で展開されているそうです。この七里御浜海岸についても十分考慮に入れ、検討されることと思います。

議員

次に河口大橋の実現可能性についてお伺いします。

町長

本事業の要望等の経緯につ

いて報告します。まず平成十六年三月に熊野川河口に橋を架ける会が設立され、十八年六月四日には新宮市で決起大会を開催しました。事業調査費は十六年から毎年付けられています。また本年度については国交省が調査主体となった、環境アセスメント調査の事前調査が十月に発注されています。国交省が策定中の中期計画にも、熊野新宮間の整備が明記されており架橋に向け期待が高まってきております。

議員

では熊野新宮間の高規格道はいかがですか。

町長

平成十六年度に地元六市町村をもつて熊野市から新宮市間の建設促進期成同盟会を設立し、国等の関係機関に対して要望等の活動を展開しております。その結果、国交省より「本区間の熊野市の市街地及び紀宝町の県境部を重点的に整備を進めていく必要がある」という回答を得ました。平成十九年度には、国交省より本区間の熊野市から紀宝町を中心に環境調査の実施をいただいております。国交省の

具体的な道路整備の計画においても、本区間は社会的便益が費用を上回ることが確認されました。しかしこのような道路整備を進めていくには、その財源となる道路特定財源の堅持が必要不可欠となります。この地域が一丸となつて本区間の整備が実現できるよう取り組んでまいります。

議員

先日の新聞によれば、大地震が発生すれば東紀州地域は全域で孤立する可能性がある」と県が指摘したとあります。国、県の当地方に対する支援はどんな状況ですか。

担当理事

平成十七年に県が発表した被害調査報告書によりますと、本町では震度六弱、全壊焼失戸数四千三百三十戸、死者は八十二人、負傷者数二百三十八人と想定されています。支援事業については、木造住宅耐震診断補助事業や緊急地震対策促進事業等があります。後者については県二分の一、町二分の一で実施しており、平成十九年度においては要望のあった鵜殿地区で津波避難路として二路線が計画されています。防災資機材も

各種購入しております。県管理である鵜殿港防潮扉は津波・高潮対策として防潮扉の電動化、遠隔操作等の整備が順次進められています。

議員

串本町や大紀町で建設されている津波避難タワーを水没が想定されている鵜殿地区に作ってはどうか。

担当理事

十二月配布予定の新しい防災マップには、三重県が作成した東南海等三つの地震が同時に発生した場合を想定し、最大六mの津波が来襲し、防潮施設が機能しなかった場合、鵜殿地区の約半分が浸水するとなっています。町としては現在津波対策として、高台への避難のための避難路整備事業を行っており、今後も津波避難路の整備を図っていきます。避難タワーについては、今後検討していきたいと考えております。

議員

地球温暖化による農作物の形態の変化については、どのような対策を考えていますか。

担当課長

当地方の重要な特産品であ

るミカンについては、県において品種研究や開発などを行っているためです。また、県の紀南果樹研究室、普及センター、農協、一市二町でプロジェクトチームを作り販売振興対策に取り組んでいます。

議員

先日の農業共済新聞によれば、農水省は土壌の炭素貯留機能に着目し環境保全型農業の検討に入ったとある。土壌は表層1mに約二兆トの炭素を土壌有機物の形で蓄えており、大気中の炭素の二倍以上に相当するそうです。農地の減少を食い止めるべきであると思います。

担当課長

米に対する消費量は食文化の変化などで年々低下しており、米価も下落に歯止めがかからず、米作農家にとっては一層厳しい状況にあります。獣害対策の支援、アイガモ米やレンゲ米などの付加価値のある米の栽培支援等を行いたいと考えております。

議員

和歌山県ではモスの森、三重県では百五の森や多気町ふれあいの森等の企業の森がで

きているが、当町にも誘致しては。

町長

CO₂の削減等、森の果たす機能等を考えても、森林の造成、管理はこれからの大きな問題になります。当町も関係部署に働きかけていきたいと思っています。

議員

紀宝町の発信基地としてのウミガメ公園の今後について。

担当課長

公園の駐車場の拡張については、高速道路の整備を見据えた中で検討が必要ではと考えています。来訪者への宣伝を兼ねたアンケートの実施については、指定管理者と協議し検討していきたいと思っています。紀勢道の開通後観光客が立ち寄りなくなることが懸念されており、地域の官民が一体となって「紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会」を設立し、地域資源、観光、文化、歴史の再発掘、農林水産品の振興などの地域活性化策をたどいま検討しております。ウミガメ公園が今後通過点にならないよう広域での検討を進めていきます。

※この他に、井田石油南側の踏切から国道に出る箇所信号をの件について質問がありました。



門脇 庸二 議員

・平成二十年度予算編成方針について
・四十三年ぶりの全国学力テストについて

— 予算編成方針 —

議員

平成二十年度予算編成方針について、第一次総合計画が示されましたが、町政事情の厳しい中で、やはり、元気な紀宝町の創造。そして健全財政の実現に向けての基本計画を進める考えについて伺います。同計画の将来像実現のための施策、事業について、重点分野の考えをお聞き

します。

町長

やはり、これからの元気な紀宝町の創造においては、若い人たちに住んでいただく施策も非常に大事な問題になってくるのではないかと思います。そういった部分について、重点的な施策を展開する中で、若者の多い活気に満ちた元気なまちづくりを推進したいと考えております。そのため様々な施策を各課において検討していくことになり

担当課長

企画調整課関係は、雇用の確保としまして、井内工業団地未分譲区画への企業誘致を推進するとともに、広域での取り組みであります、「熊野地域づくり支援会議」や「東紀州地域雇用創造推進協議会」において、起業の支援、担い手の育成、商品開発のアドバイスや就職説明会を行い、雇用の拡大に繋がっていると思っております。また、産官学連携による新たなシステム作りなど、地元企業のさらなる発展のための研究・開発についても、お手伝いさせていただきます。

担当理事

総務課関係は、少子高齢化社会の進行する中、本町においても、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進するため、豊かな自然を守りつつ、若者が取得しやすい住宅地造成を検討するとともに、町有地の有効利用に向け、さらに詳しい調査をしてまいります。

担当理事

税務住民課は、若者定住化策の推進ということで、住宅支援制度。また税の減額措置として半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置と農村地域工業導入地区における固定資産税の特例措置です。

担当課長

産業建設課は、担い手対策としまして、紀南地域全体について新規就農者に対する支援策として、地元の指導農業者や青年農業者等が講師となり、就農希望者が円滑に就農できるよう「紀南かんきつ就農準備校（仮称）」を設立し、新規就農者の支援を行うこととなっております。

担当課長

健康づくり推進課は、従来

どおりの健康づくりはもちろ
んのこと、生活習慣病予防、
介護予防事業を中心に取り組
んでまいりたい。

担当課長

福祉課は、子育て支援の対
策として、安心・安全を最優
先にした保育所施設の充実、
地域全体のサポートをいただ
きながら、子育て支援センタ
ーを核として、療育施設の整
備、ファミリー・サポートセ
ンターや学童保育の運営、子
育て支援ボランティアの育成
など、若者定住を念頭に、地
域の子育てと仕事の両立を応
援する「子育て支援ネットワ
ーク」の形成を推進してまい
りたい。

担当課長

環境衛生課は、新設される
リサイクルセンター等におい
て、循環型社会の更なる推進
を図り、住みよい生活空間の
創出。また、新年度より計画
しておりますPFIによる浄化
槽整備事業により、一定の公
共投資で、最大の行政効果を
あげるべく、努力してまいり
たい。これにより民間企業、
民間活力の創出ができ、新た
な雇用や産業として、地域の
活性化が図れるのではないか

と考えています。

担当室長

住民サービス室は、公園関
係の遊具の点検に、より一層
努めたい。

担当課長

教育関係は、安心・安全の
教育ということで、教育支援
要員の充実。耐震補強の関係
事業を二十年度で計画してお
ります。

担当理事

建設関係で、継続中であり
ます、道整備交付金事業で、
町内の排水関係を重点的に整
備してまいりたい。それと、
地震対策、耐震、橋梁の落橋
防止も継続的に進めてまいり
たい。

担当理事

診療諸関係は、新しい医師
に十分診療していただけるよ
うな体制づくりと、医療の充
実を図りたい。

議員

二十年度予算編成に向けて
の重点施策、この予算に必ず
反映していただけるのです
ね。

町長

来年度の紀宝町の全体的な
施策等について、各課の申し
上げた形の中で、推進してい

けるような予算編成をした
い。

— 全国学力テスト

議員

この今回、四十三年ぶりに
学力テストをやられ、新聞報
道でも、日本の学力は右肩下
がりであると報道されまし
た。そして四十三年間、そう
いうデータとか全然とらずに
きたわけですね。

教育長

四十三年間何もしていなか
ったわけではなく、今回の全
国学力調査というのは、すべ
ての学校がやっていくと。今
までは、抽出してやっており
ました。この四十三年間抽出
の形の中でやってきて、今回
の試験になったわけです。

議員

私は、やってなかったに等
しいのではないかと解釈しま
す。それは別にして、それ以
前の問題がありはしないかと
いう気がする。例えば教師の
服装をみますと、ジャージ
姿、ラフな格好をしている。
教鞭をとるときも、運動する
ときも同じ服装です。やは
り、そこに一つのけじめとい

うか、運動するときには体操服
に着替えていただかないとい
けないと思う。私は、運動が
あり、授業を教えるときは、
背広なりに着替えて教鞭にた
って教えていただいたように
記憶している。今それがなく
なっているような気がする。

議員

そして、子どもに挨拶をしな
さいと言うけれど、学校の先
生で、進んでしている先生は
少ないような気がします。全
部の先生がしてないというこ
とではないですけど。その辺
のところから気持ちを切り替
えをしていかないと。これは
当たり前のことです。学校の
先生の服装、挨拶、教育長は
どのような印象、考えをお持
ちですか。

教育長

私は人間、服装は大事だと
思います。授業の中でも、小
学校であれば、全ての教科を
持っていますので、服装は、
その場その場によって、学校
の先生は替えていくべきだろ
うと思っています。議員と少
し認識が違うのですが、挨拶
も、やはりどうしても個性と
いうのがありまして、うまく
外に表れてこない先生もあり
ます。決して挨拶はする必要

ないということではなく、挨
拶はしなければならぬと思
っていて、やはりすぐに表
れてこない学校の先生もあり
ます。

議員

上手、下手の問題でなく、
挨拶できないということとは、
教鞭とる以前の問題だと思
う。その点について、再度教
育長の考え方を。

教育長

挨拶できない先生は挨拶で
きるようにする。服装が誤解
を受ける服装をしているもの
は、やはり指導していかね
ればならないと基本的にはそ
うでございます。



石垣 憲一 議員
・ペット霊園（動物霊園）
について

—— ペット霊園

議員

統計によると、全国平均十人に四人は何らかのペットを飼っているとなつています。ペットが元気な内はいろいろな法律によって保護されていますが、ペットの家族化が進む中、人と同様に墓地に埋葬したいと思うのは人情かと思ひます。しかし、ある日突然隣の空き地にペットの墓ができたとき、住民感情やトラブルは計り知れぬ、ま



議会運営委員会

た、行政側も大きなリスクを背負うことが予想されます。動物霊園を否定するわけではありません。お互いが共存していくためには、早急に条例の制定が必要と思われます。近隣市町村でこういった業者と住民のトラブルはありませんか。

担当課長

近隣の市におきまして、平成十八年秋頃にペット霊園の施工主と地区住民との間でトラブルが発生し、建設に伴う反対運動が起こりました。民事調整中と伺っています。

議員

当町ではこういったトラブルは起きないと思ひますか。

担当課長

当町においてもこのようなトラブルが起きる可能性はあると考えております。

議員

動物の死骸は一般廃棄物、産業廃棄物、どちらに分類されるのでしょうか。また、一般廃棄物の焼却について、規制等を教えてください。

担当課長

動物の死骸は廃棄物の処理及び清掃に関する法律第二条第一項によりまずと一般廃棄

物に、また、畜産農家から排出される動物の死骸は産業廃棄物に分類されます。しかし、動物霊園事業などで取り扱われる動物の死骸は、社会通念上、この法律では汚物または不要物には該当いたしません。従いまして同項に規定する廃棄物には当たらないという解釈がなされています。

一般廃棄物の焼却にかかる規制等については、法律等に規定された処理基準によって行われるものですが、例外が設けられており、焼却禁止の例外として、災害復旧、風俗慣習また宗教上の行為、農林業を行うための必要最小限の焼却、たき火等その他日常生活を営む上で軽微なものと定義されております。

議員

ペットの所有者が汚物、または不要物でなければ法律の見解どうり廃棄物ではないということ、自分または業者に頼んで土葬、火葬しても埋め立て処分、焼却処分には当たらないということ、その通りですか。

担当課長

ご指摘の通りです。

議員

ペットを家族と同じ墓地に埋葬することは墓地埋葬法では合法なのか。また、墓地埋葬法において動物は対象に含まれているか。

担当課長

墓地埋葬法では人間の遺骨に関する法律となっており、動物の遺骨は規定をされていません。同法の適用外となっています。ペットを埋葬する場合は一般的に親族や周辺の墓地所有者、墓地管理者の判断に委ねられる部分が大きいのと考えています。

議員

オークワ加工センターの上に墓地の宅地造成地があるが、許可申請の手続きは。

担当課長

墓地埋葬法等に関する法律によりまして、適正に届出が出されて許可が下りております。

議員

当町における現行法で動物霊園の造成を規制することができかどうか。

担当課長

現行法におきましては、町による規制はできません。

議員

再度、ペットの焼却について、何らかの規制はありますか。

担当課長

ペットに関しては規制はありません。

議員

新宮市の清浄苑でペットの焼却処分ができると聞いていますが、手続き、手数料など、分かっていることを教えてください。

担当課長

清浄苑、紀南環境衛生施設事務組合に備えています清浄苑の使用許可申請書により、持ち込みを許可されて処分ができます。使用料は一体一万五千元となっております。

議員

ペット霊園に関して法的には何ら規制がない。一般に廃棄物を焼却処理するとき一日五ト未満の場合は、焼却物処理の届出だけで許可は不要となっているが。

担当課長

ペットに関しましては、これに当たらないということですので。

議員

五ト未満の焼却炉を設置した場合にもボイラーの免許も不要とされていますが、これ

で合っていますか

担当課長

ペットの焼却の際には、公害防止法とかその他の適用外であり該当します。

議員

課長答弁にもありましたように、ペット霊園は容易にできるということになります。行政のリスクをなくすためにも、また地域住民のトラブルを回避するためにも、一日も早く条例化する必要があると思います。

担当課長

このペット霊園に関する規制というのは一切ございません。ペット霊園がある日突然自宅の横に作られるということに、周辺の住民の心的不安、迷惑は規制できない状況であります。ペット霊園事業者もこれを業としてやっている権利も有しております。何らかの規制を検討していく必要は、担当課として考えています。参考までに、現在全国で二十四の自治体が条例または要綱を制定しております。

議員

町長の見解をお願いします。

町長

心情的にはペットを埋葬してあげるというのも大事なことでだろうと思います。ただそれが地域の中でどうかたちで受け入れられるか社会問題にも、検討していく必要があるんじゃないか。議員いわく条例とまで至らずとも指導要綱的なものも踏まえて、対応していく必要があると思っています。今後十分検討していきたい。



登立元吉議員
・財政力に対する評価と今後の見通しについて

財政力に対する 評価と見通し

議員

はじめに確認をさせていただきます。本町の経常収支比率県内二十九中最下位の二十九位、先ほど東海財務局が発表しました経済力ランキング管内百七十六中百七十四位、財政力指数十七年が〇・三六二、県内二十二位、十八年〇・三八三、県内二十二位、これに間違いございませんか。

担当理事

その通りです。

議員

この数字をご覧になって、まず町長の感想をお聞かせください。

町長

三重県において低い位置を占めています。近隣の合併する前の数字が頭の中にあるところ、近隣の中ではないところ、位置しているのではないかと思います。県下でも〇・五を越えている団体が多いのは、自前の税収が多いということであり、当地方では農林水産業を中心とする部分が多くかなり低くなっていると思います。地元の企業の育成、財政力指数が向上するような企業の誘致等、更には活力のある企業の育成等に取り組んでいきたいと思っています。

ます。

議員

東紀州地域というか南郡は軒並み悪いと思います。財政力指数としては低い位置、経常収支比率としては非常に高いパーセンテージを呈しています。紀宝町の置かれている位置は非常に厳しいことに変わりありませんが、これらの数字をもって全てということではないと思います。何故このような質問をするかといいますと、町民や町出身の方々がこの数字を聞いて、紀宝町はもうあかんのかという思いに至るとしたら、マイナスイメージを与えてしまうことになると思うからです。この辺のところを一つ説明しておく必要があると思います。熊野市は財政力指数は二十五位でも経常収支は十三位、積立金も結構あります。ところが東海財務局の発表では百七十六中百七十六位と発表されました。

先日の市長の記者会見では悔しい思いがにじみ出ていたように思います。どれかの数字一つを取って悪いと決め付けることはできません。もし数字だけを改善するために小細

工をするとしたら、町政を誤るのではないかと気がします。本町は公債比率は十六位ぐらいだと思います。全国的に公債比率三十八・一とか四十二・二といったところがあります。ところが経常収支七十九・三です。内容はよく分かりませんが、おそらく極力事業を削っている、サービスを削っていると思われるます。数字の改善だけなら何もしなければ良くなると思います。でも町としてはやらなければならぬこと、更には積極的に打って出なければならぬ施策というものがあるでしょう。そのときのバランスをどう見ていくかだと思います。近隣の市町と比べてみてもそんなに見劣りするようない、何もできていないとは私自身思っていないんですが、町長その辺はどう感じていますか。

町長

この紀宝町は一番住み良い町だと思っています。近隣の市町村を見ましても決して引けを取るものではないと思っています。経常収支は確かに高いわけですが、社会基盤整備なり、福祉の増進なりい

いろいろな方たちの中で取り組みが進んでいるというふうに言えないこともない。ただ經常収支比率が高いので行政的な無駄をなくし、効率的な運営をしつかりとやっていかなければと考えています。

議員

紀宝町は一番悪いとは思っていませんが、硬直状態にあることだけは確かです。だからといって町としてやらなければならぬことを見落としてしまつてはなりません。町行政を行うに当たっては住民の協力をお願いしなければなりません。それだけに説明責

任を果たしておく必要があると思います。

町長

町民の中にもいろいろと心配いただいていると思いますので、紀宝町は安心です。安全です。よとPRしなければと思つています。来年度予算については人件費、物件費等の削減を図りマイナス五%のシーリングで考えています。

議員

特別会計について。統計の出し方が一般会計だけから、特別会計をも含めたものになったと思ひますが、それらの会計が大きく影響していると思ひますか。

担当理事

水道については旧町村負担をもつて利子の償還に充てています。医療費の変動についても特に危機感はありません。ただゴミの件についてはどうなるかといったところです。

議員

最後に補助金について。補助金という項目では、町単独のもの、県、国からのものも一緒になつていふと思ひますが。

担当理事

ひつくるめた額になつていふと思ひます。

議員

これは区別して考えるべきではないかと考えます。県、国からの補助金を増すべく町長には頑張つていただき、積極的な町の財政運営を行つていただきますように。



矢熊達雄議員

- ・地籍調査について
- ・行財政改革について
- ・一次産業について
- ・河口大橋と熊野新宮間の自動車専用道路について

地籍調査

議員

地籍調査に対する基本的な、考え方を伺いたい。

担当課長

国土調査法に基づき土地の位置、境界、地目、面積等、

地籍を明確にするため、国四分の二、県四分の一、町四分の一の費用分担で行う事業です。当町では明治時代の地租改正事業の調査記録で作成された地図が多く、境界、面積の図面と、現地が合致しないところが多くあり、土地の売買や相続、分筆等に支障を生じております。この調査により法務局備え付けの図面を正しく訂正することが必要と考えております。

議員

地籍調査は、行政活動、経済活動等の基本になると思つています。課長の答弁にあつた町四分の一の負担については、特別交付税の措置が八十%なされて実質町の費用負担は事業量の五%だと思ひうが。

担当課長

そのとおりです。ただし人件費については補助対象外です。

議員

地籍調査の事業は国の根幹にかかわることなので本来ならば国がすべき事業と思ひうが、現況についてどのようになつていふか。

担当課長

平成十五年より十カ年年計

画で、井田地区を調査中です。十九年四月現在で〇・六一kmが調査済みです。十九年度、〇・一kmを発注し調査中です。職員については一名です。

議員

十カ年年計画でこの五年〇・七一kmの調査、この事業量について町長はどのように感じるか。

町長

遅れているので、整備については検討してまいりたい。

議員

検討してまいりたいとの答弁だが、計画については不可能に近いと思ひうが、原因について何があるのか。

担当課長

人件費の占める割合が大きと思ひいます。

議員

事業の遅れる原因が事業費ではなく人件費の手当がつかないために、進捗がままならないとは理解しにくいが。

町長

精通した職員を配置する中で、事業の促進ができるように進めてまいりたい。

議員

十カ年年計画の後。



教育民生常任委員会

担当課長

その後もやっていきます。

議員

ネックになっている人件費については方法はないのか。提案だが二十年度から始めようとしているPFI法を取り入れる方法もあるが。

担当課長

地籍調査についてPFI法が適当かについては勉強をしていますが。

議員

勉強をしたことを活用するということが大事なのは、また発想も大事だと思うが。

町長

検討させていただきます。

議員

地籍調査事業の二十年度の人員配置、予算について反映されることを期待しております。

行財政改革

議員

進捗は。

担当理事

答申は十二月中に、実施計画は二十年五月頃にできます。

議員

実施計画が反映されるのはいつか。

担当理事

できることから実行していき、実施計画については更に細かい部分を審議していただき進めていきたい。

議員

今までやれることは一生懸命やってきたとの答弁が本年の議会でされたが、町民の方々に見える形で早くしないと、行財政改革実施計画が反映されるのは最終年度になるのでは。

町長

経常収支については三ポイント減額、実質公債比率〇・二%下がっています。昨年は物件費の十%の削減、今年度においても五%削減をしようと思っています。町民の皆様にも理解をしてもらわなければいけないこともあり、時間をかけて、慎重に検討していかなければと考えています。

議員

町民の皆様早く公開をしていただきたい。

一次産業

議員

中山間事業を活用した圃場整備が浅里地区で行われている。旧紀宝町でも過去に圃場整備事業を実施しており、受益者負担についての整合性も必要ではあるが、現在農業を取り巻く状況については大変厳しい状況です。事業の施工については浅里地区の相当りの工事費が高額だと聞いている。受益者負担を軽くできないか。

担当課長

圃場整備の対象農家負担金については大きいと認識はしています。近郊の市町村の負担率も見ながら、大変厳しい財政状況の中、検討協議してまいりたい。

河口大橋熊野新宮

間自動車専用道路

議員

進捗状況は。

担当課長

国土交通省中部整備局紀勢国道事務所から、熊野新宮間の紀宝地区の環境調査業務が十九年十月一日に発注され進められているとの報告を受けています。工事契約金額につ

いては四千四百十万円と聞いています。



榎本 健治 議員

- ・地域の活性化について
- ・子育て支援について
- ・地域福祉の推進について
- ・行財政改革について
- ・地域問題について

地域の活性化

議員

紀宝町の活性化策として今後の戦略は。

町長

現在、広域での取り組みとして、熊野地域づくり支援会議を三重県、熊野市、御浜町、紀宝町の四機関によって立ち上げております。本町からは若者定住化策を会議のテーマとして提案をしており、第一次産業における担い手育成の検討を行う予定となっております。

ます。新たな交通網の整備として、新宮市、紀宝町の更なる振興を図るための熊野川の河口大橋の実現に向けて、取り組みを強化したいと考えております。

議員

高校のクラスでも農業科を設けて、地域の担い手を育成できないか。

町長

高等学校のあるべき問題の中で、地域の中でも大きく考えていくべき問題とっております。検討していく必要があります。強くあると私自身は思っております。

議員

インフラ整備で河口大橋建設を求める声を上げて数年経ちますが、本当にできるのかというような世論も聞かえてきますが。

町長

熊野川河口大橋につきましては、調査費がプレアセメントとして十九年度で四千四百十万円つき、動植物の生態系調査が行われます。これは建設に向けての一步です。国交省の中期計画の中で、四車線で整備をする必要性のある道路ということが認められま

した。

子育て支援

議員

療育機能の整備について、前回の質問では鮎田保育所を検討ということでしたが、その後の状況は。

担当課長



第4回定例会

今後、紀南地域における療育機能の充実を図るため、療育施設の整備を広域的に検討していく予定です。

町長

療育の重要性は認識をいたしており、現在、実施に向けて検討を重ねているところです。今回、採用する保育士に療育等の勉強をしていただき、子育て支援センター等との連携を進めていきたい。

議員

紀宝町で早期に療育施設の整備ができるようにお願いします。

地域におけるファミリーサポートセンターが必要であると思います。

担当課長

ファミリーサポートセンターは、地域において育児や介護の援助を受けたい人で行いたい人がそれぞれ会員になり、育児や介護について助け合う会員組織です。ファミリーサポートセンターは、地域の子育てと、仕事と介護の両立を応援するものであり、当紀宝町が目指す「子育て支援」の柱の一つであると考え、県下のすでに行われて

おります運営状況等を参考にしながら、設立に向けて前向きに検討していきたいと考えております。子どもさんの預かり場所といたしましては、子育てを終わられた地域の方々にもご協力をいただき、町全体で機運を盛り上げていきたいと思っております。

議員

現在、特色ある教育の一環として、ALTによる英語指導の援助が行われていますが、乳幼児の頃から英語に親しむために保育所でも実施できないか。

教育長

三学期になりますと中学校が受験のためALTが空いてくる可能性があります。教育委員会に言っていたいただき、空いていれば保育所等にも派遣できます。

地域福祉の推進

議員

分野ごとに独立した縦割りの行政から、分野の連携を強化していくシステムが必要になってきます。福祉・保健・医療それぞれが協力しあっ

て、地域をマネジメントする必要がありますのではないかと。

町長

ご指摘のとおりであると私も認識をいたしております。福祉・医療・保健の連携を図りながら、来年度以降、議員の皆様にも認めていただければ、二村理事を中心として、福祉・医療・保健の統括的なかたちの中で、指導していただければと思っております。

行財政改革

議員

行財政改革について、町長ができることから先に取り組んできたということで、まず挨拶運動に取り組んでくれた点、評価できますが、民間企業等への体験型の研修は、行政改革に取り入れられないのか。

担当理事

行政品質の向上で、県の職員に講師になっていただき、管理職を対象に研修会を開きたいと思っております。

議員

研修会だけではなく、民間企業への体験型の研修を実施していただきたい。更に民間

企業等で行われている朝礼や始業前体操を行政でも取り入れ、規律を高めて意識を改革していくということはできないのか。

町長

ご指摘のように、研修等につきましても、鋭意取り組んでまいりまして、職員も真摯に受け止め、一生懸命取り組みでもらっていると思っております。今後も更に資質の向上に取り組みを進めていきたい。新しい取り組みとして、朝礼につきましても実施をいたしております。体操等につきましても健康づくりを踏まえて、職員とも協議しながら、労働環境衛生の問題もございまして、今後、検討させていただきます。

議員

朝礼等は取り組んでおられるということですが、その前に始業前体操を取り入れていただいて、健康づくりや規律・意識改革の観点から民間の発想で実施を提案します。

地域問題

議員

公民館撤去に伴う鵜殿地区

集会施設について、防災の避難所または自治会の活動の場所が必要であるという要望を受けますが、今後の予定についてお伺いします。

町長

地元自治会からもコミュニケーションの場、近隣の親子で使える集会所、また非常時の避難場所としての要望等が上がっております。町といたしましても「まちづくり交付金事業」により、集会所機能、また避難所機能を兼ね備えた地域交流センターとしての建設を検討いたしております。利用者のニーズを反映させた使い勝手の良い施設を、地元自治会等と協議をし、年度内に施設の基本設計を行い、来年度の完成を目指してまいりたいと思っております。

議員

できるだけ早く、完成できるようにお願いを申し上げます。

※この他に、保育料の件について質問がありました。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)

可決された議案

●公平委員会委員の選任同意

・公平委員に木田泰宏さん（成川）の選任に同意しました。

●紀宝町国民健康保険税条例の一部改正

・健康保険法等の一部を改正する法律の一部施行に伴い、平成二十年度四月から国民健康保険税の特別徴収を実施することとした点を踏まえ、条例の整備を行うものです。

●紀宝町職員の給与に関する条例の一部改正

・平成十九年人事院勧告に伴い、扶養手当、勤勉手当及び給料表について、所要の改正を行うものです。

●紀宝町技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

・平成十九年人事院勧告に伴い、技能労務職員の給料表について、所要の改正を行うものです。

●平成十九年度一般会計補正予算（第三号）

●平成十九年度国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

●平成十九年度老人保健特別会計補正予算（第二号）

●平成十九年度診療所事業特別会計補正予算（第一号）

●平成十九年度水道事業特別会計補正予算（第一号）

●人権擁護委員の推薦について意見を求めること

・人権擁護委員に有城安子さん（井内）を推薦することに同意しました。

編集後記

地方自治体の財政状況が大変、厳しくなっております。このようなときこそ住民の代表としての議員の役割は重要です。

格差社会の中で地方議会が住民生活を守る防波堤にならなければなりません。後期高齢者医療制度は七十五歳以上の方の医療を別枠にして、必要な医療を受けられなくなり、多くの議会では、反対決議がされました。社会保障は、社会全体で互いに、助け合いをするための制度です。今の社会を築いてくれた方々に対して、このような仕打ちをする社会は幸せにはならないと思います。

私たち議員は、常に情勢把握をし、先を見て、後世に負の遺産を残さないようにしなければならぬと思っています。住民の皆さんから「議員よしっかりしてくれ」という声が聞こえてきます。

（文責 平野）
「議会だより」（第7号）

編集委員

平野美津子 登立 元吉

矢熊 敏男